

団長として

「提案し共同する議員団」

の先頭に

日本共産党は、市政の問題点を厳しく批判しつ つ、市民要求を取り上げ政策提案し、市民運動と 共同して市政を動かしています。

コロナ禍の中で、市民相談2,300件を受けて、 市長に12回の申し入れと懇談を行い、制度改正と 運用の改善が実現しました。「困ったときには共産 党」と信頼を広げています。

さらに、市民や団体のみなさんと意見交換を行 い、それをもとにした予算要望書を市長に提出し ました。引き続き、市民に寄り添い、苦難軽減と 要求実現、市政の転換をめざしてがんばります。



申し入れ(8月)

予算要求懇談会(10月)

こんな時に増税と負担増か!?

11月市会の冒頭(25日)に、 コロナ禍で大変な時に市民に増 税と負担増を押し付ける市民税 減免制度廃止条例が、日本共産 党の反対を押し切って可決され ました(詳細は裏面を参照くださ い)。提案した市長と賛成した議 員に心の底から抗議します。

しかし、実施は3年後です。 市民の世論と運動で撤回させる よう全力をあげます。



府市民総行動で訴え(11月)

ついに核兵器禁止条約が発効へ!

批准が50カ国を突破し、今年 1月22日に発効します。

被爆者をはじめとした国際世 論の大きな勝利であり、核兵器 を違法と断じる初の国際法がで きます。被爆二世として、議会 のたびに声をあげてきた議員と して、大歓迎です。

日本政府に核兵器禁止条約に 参加して、核兵器廃絶の先頭に 立つよう強く求めます。





平和行進(6月)



ゆうメール

【返還先】〒604-8571京都市中京区河原町御池京都市役所内 日本共産党京都市会議員団 【差出人】〒 572-0814 寝屋川市堀溝 1-21-1 CHUETSU TRANSPORT Co..Ltd.

コロナ禍で大変な今だから 爰の京都市に!



制の充実

市民税減免廃止は許せません 所得の低い人に14億8000万円の負担増

昨年の11月市会で、所得の低い市民の市民税減免制度を廃止する条例が可 決されました(日本共産党のみ反対)。約5万人に対し1億6000万円の増税。 連動する福祉施策など、京都市の事業だけで57事業、13億2000万円。合計 14億8000万円もの負担増になります。



70歳を超え、抗ガン治療を行っ ています。医療費の月の限度額は 8,000円、入院は24,600円+食事 代、年金生活者には非常に助かって います。制度がなくなったら、通院 が18,000円、入院が57,600

公務員が う時代は終わっ な課題 、行政がやらなければならな の これを税金で、 ていると思う。

市民税減免廃止に続き、市長が諮問した「行財政審議会」では、財政が厳しいからと、福祉・ 教育・子育て施策など [聖域なく] 見直し、さらなる切り捨て、削減が検討されています。

その一方で

検討・議論されている内容

- ▶敬老乗車証制度の改悪・負担増
- ▶小学生の虫歯治療施策の廃止
- ▶国民健康保険料への繰出金の カットと保険料の値上げ
- ▶保育所運営費補助のカット
- ▶下水道事業への繰出金カットと 使用料値上げ
- ▶各種補助金のカット

不要不急の

事業は"聖域"に

北陸新幹線の大阪までの延伸

∖財政も 自然環境も 住環境も大変!∥

トンネル工事による残土

処分方針も無し(府環境影響評価専門委員の試算)

堀川地下バイパス

「早期の計画策定」を国に要望